

合同ゼミナール大会報告書

ゼミ名 : 小野 有人ゼミ
授業科目名 : 演習Ⅱ、演習Ⅳ
開催日 : 2019年11月30日(土)
開催会場 : 名古屋大学経済学部
参加大学名 : 関西学院大学、京都産業大学、名古屋大学、中央大学
参加学生数 : 5名(3年生)、2名(4年生) (参考: 4大学 計35名)

ゼミナール大会報告

加藤ゼミ(関西学院大学)、沈ゼミ(京都産業大学)、高橋ゼミ(名古屋大学)、本ゼミの3・4年生が、各々の研究テーマについて報告・質疑応答を行った(計13本)。これまで取り組んできた研究内容を与えられた時間内でプレゼンテーションすることで、自分たちの研究の骨子を体系的に整理し、また研究内容を分かりやすく伝えるために必要な工夫を考える良い機会となった。また、他大学の研究報告を聞くことで、自分たちに足りない点を認識し、研究を進めるうえでのモチベーションを得ることができた。総じて、12~1月に予定されている最終報告会および演習論文の執筆(4年生)に向けて、有益であった。

(参考) 中央大学小野ゼミの報告者・報告テーマ

報告者	報告テーマ
藤嶋・余・王(3年生)	ソーシャルレンディングは銀行の貸出残高を減らすか
長内・佐藤(3年生)	地方銀行と事業性評価融資: 事業性評価融資は地方銀行にプラスの影響を与えるのか?
長島信雄(4年生)	日本企業の現金保有は過剰なのか? 中間報告
實川勇介(4年生)	映画製作における資金調達方法の日米比較